

仕入ご担当者様<社会・福祉>



晶文社
既刊のご案内

話題の本です。この夏、
貴店での販売をご検討
ください。

FAX03-3518-4944

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp

今市女児殺害事件容疑者逮捕

子どもを狙った犯罪は どうすれば根絶できるのか…

朝日新聞 6/4

東京新聞 6/10

千葉大名誉教授 (地域計画学)
中村攻氏がコメント
(防犯効果が高い公園や緑地、
街路計画づくりの第一人者)

子どもたちを
犯罪から守る
まちづくり

ネエ方と実践 — 東京・圏域からのレポート

中村 攻



見守り、見通し、
いまいちど、
自分のまちを
見直そう！

東 京 新 聞

犯罪呼ばぬ 2つの見



警察官が公園で、大がかりな捜索に際して児童4人に説明している。

守り 集う場作る
通し 死角減らす

子どもを狙った犯罪は根絶できるのか。吉田有希ちゃんに連れ去られた後、本誌記者は現場を検証した中村攻千葉大名誉教授に「地域計画学」で、再発防止の鍵を聞いた。(大野 暢子)



千葉大 中村名誉教授に聞く

今市女児殺害 容疑者逮捕1週間

「暴力的、性的被害に遭った子どもの七割近くが「犯人は、見たとがない大人男」と証言しているんです。」一九八〇年代以降、子どもが被害に遭う事件が続出したのをきき、各地で犯罪実態を調査してきた中村さんが言う。千葉県の小学生約千人に実施したアンケートでは、約40%が「追いかけ回された」「壁うらした」など回答。東京都の見聞約千二百人へのアンケートでも、約30%が何らかの被害を体験していた。まちづくりの視点から、地域の実情に合わせた防犯策を提言してきた中村さん、有希ちゃんに話を聞いた。

「一人の人が社会的弱者はけ口にして、雇用の劣化が口にして、社会に反発を保持する人が増える。構造的な社会主義をもち、行き過ぎた競争を是正するよめな施策が必要」と、一地域だけでなく、社会全体で犯罪にたいがな身を取り除くことの大切さを説いた。

「なからむ、おきむ」京大大学院建築学専攻博士課程修了。専門は地域計画学で、防犯効果が高い公園や緑地、街路計画づくりの第一人者。著書に「子どもたちを犯罪から守るまちづくり」など。

が連れ去られたのは四週間の後の二〇〇五年十二月、旧今市市内の通学路歩き、杉木立や未造成の地帯で、地域の「死角」を指摘した。県外ナンバーの車が走り交差する道を「犯罪者が入りやすくて逃げやすい」と分析していた。

「地域が伸びてきた登下校時の見守り活動についで、大卒の努力が続いている」とおぼろう。一方、「危ないのは通学路だけではない。危険な場所季節や時間帯で変わる」と活動の限界も指摘する。

今も、子どもたちは大人に付添い、子どもが通る時間を「一人の人が社会的弱者はけ口にして、雇用の劣化が口にして、社会に反発を保持する人が増える。構造的な社会主義をもち、行き過ぎた競争を是正するよめな施策が必要」と、一地域だけでなく、社会全体で犯罪にたいがな身を取り除くことの大切さを説いた。

既刊注文書	取次・貴店印	<h2>子どもたちを犯罪から 守るまちづくり</h2>	申込部数
	ご担当		冊
	様	千葉大学名誉教授 中村 攻 著	展示方法
		【社会・まちづくり】四六判並製/244頁/本体1,600円 ISBN978-4-7949-6783-1 C0036 晶文社営業部 TEL03-3518-4940	平 台